Ⅲ　耕地の利用状況

１　農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率（令和２年）

(1)　田畑計の農作物作付（栽培）延べ面積は399万1,000ha で、野菜、飼料作物等の作付面積が減少したことから、前年に比べ２万8,000ha（１％）減少した。

田畑計の耕地利用率は 91.3％で、前年に比べ 0.1 ポイント低下した（表 14）。

(2)　田の作付（栽培）延べ面積は220万9,000haで、前年並みとなった。

田の耕地利用率は92.9％で、前年に比べ0.1ポイント増加した（表14）。

(3)　畑の農作物作付（栽培）延べ面積は178万2,000haで、前年に比べ１万7,000ha（１％）減少した。

畑の耕地利用率は89.4％で、前年に比べて0.4ポイント低下した（表14）。

表 14　令和２年農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率（全国）

区分	田畑計			田			畑		
	作付（栽培）延べ面積	前年との比較 対差	前年との比較 対比	作付（栽培）延べ面積	前年との比較 対差	前年との比較 対比	作付（栽培）延べ面積	前年との比較 対差	前年との比較 対比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
作付（栽培）延べ面積	**3,991,000**	**△ 28,000**	**99**	**2,209,000**	**△ 11,000**	**100**	**1,782,000**	**△ 17,000**	**99**
水稲（子実用）	1,462,000	△ 7,000	100	…	nc	nc	…	nc	nc
麦類（子実用）	276,200	3,200	101	176,400	4,100	102	99,800	△ 1,000	99
大豆（乾燥子実）	141,700	△ 1,800	99	114,200	△ 1,800	98	27,500	△ 100	100
そば（乾燥子実）	66,600	1,200	102	38,900	700	102	27,800	600	102
なたね	1,830	△ 70	96	…	nc	nc	…	nc	nc
その他作物	2,043,000	△ 23,000	99	417,200	△ 6,100	99	1,626,000	△ 17,000	99
耕地面積	4,372,000	△ 25,000	99	2,379,000	△ 14,000	99	1,993,000	△ 11,000	99
耕地利用率	91.3%	△0.1ﾎﾟｲﾝﾄ	…	92.9%	0.1ﾎﾟｲﾝﾄ	…	89.4%	△0.4ﾎﾟｲﾝﾄ	…

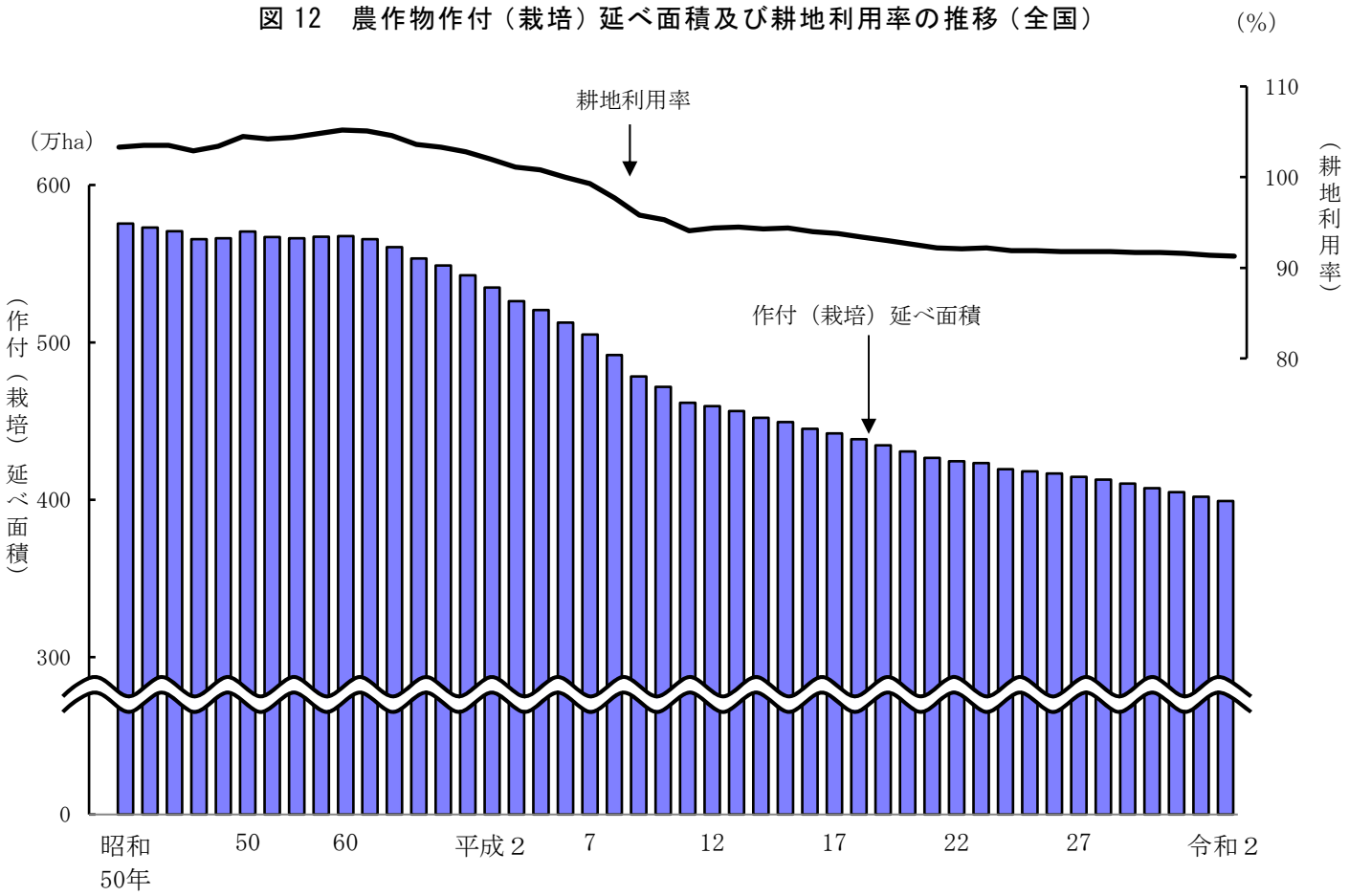
注：耕地利用率とは、耕地面積を「100」とした場合の作付（栽培）延べ面積の割合をいう。

$$耕地利用率（\%）＝\frac{作付（栽培）延べ面積}{耕地面積}\times 100$$

(4)　作付（栽培）延べ面積の動向をみると、昭和49年から昭和60年は麦類の生産振興による作付面積の増加等からほぼ横ばいで推移した。昭和61年以降は作物ごとに増減はあるものの、総体的には減少傾向で推移している（図12）。

(5)　耕地利用率の動向をみると、昭和48年から平成４年までは100％を越えていたが、平成５年に100％となり、平成６年には99.3％と100％を下回った。平成７年以降はほぼ低下傾向で推移し、平成23年以降はほぼ横ばいで推移している（図12）。

図 12　農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率の推移（全国）



２　夏期における田本地の利用状況

(1)　令和２年夏期（おおむね水稲の栽培期間）における田本地の利用状況をみると、水稲作付田は157万5,000ha（青刈り面積を含む。）で、9,000ha（１％）減少した。

水稲以外の作物のみの作付田は40万haで、3,000ha（１％）減少した。

また、夏期全期不作付地は27万3,000haで、前年並みとなった。

この結果、田本地に占める水稲作付田の割合は70.1％、水稲以外の作物のみの作付田の割合は17.8％、夏期全期不作付地の割合は12.1％となった（表15）。

表 15　令和２年夏期における田本地の利用状況（全国）

区　　分	面 積	前年との比較		構成比
		対　差	対　比	
	ha	ha	%	%
田　本　地	**2,248,000**	**△ 13,000**	**99**	100.0
水稲作付田	1,575,000	△ 9,000	99	70.1
水稲以外の作物のみの作付田	400,000	△ 3,000	99	17.8
夏期全期不作付地	273,000	△ 1,100	100	12.1

(2)　夏期における田本地の利用状況の動向をみると、米の生産調整が実施されて以降、米の生産調整面積の変動による増減はあるものの、水稲作付田は減少傾向で推移し、夏期全期不作付地については増加傾向で推移している（図13）。

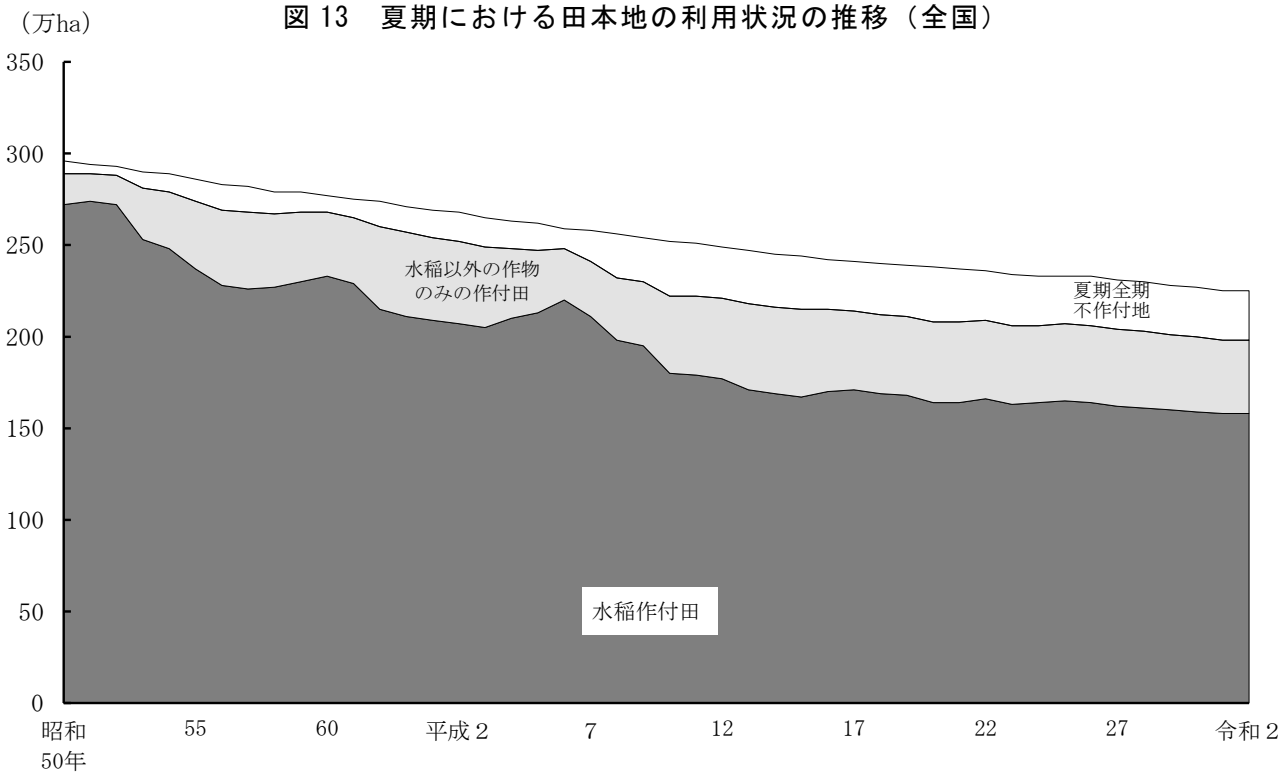



図 13　夏期における田本地の利用状況の推移（全国）